

教科(科目)	地理総合	単位数	3単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	帝国書院「高等学校新地理総合」		帝国書院「新詳高等地図」		
副教材等	帝国書院「世界の諸地域Now」		帝国書院「高等学校新地理総合ノート」		

1 学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会で主体的に生きる資質・能力を育成することを目指す。

- ① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会に実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画

※知…知識・技術、思…思考・判断・表現、主…主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1	4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	1 緯度・経度 【24時間、地球は眠らない。】	9	○		○	ワークノート (記述の点検) 世界標準時と世界各国との時差 (発表)
		第1章 私たちが暮らす世界	2 地球儀と世界地図 【丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。】					
	5		3 日本の位置と領域 【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ?】	9	○	○	○	領土問題の背景 領土問題の解決
		定期考査			○	○	○	
6	6	第2章 地図や地理情報システムの役割	4 地形図のルール 【地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。】	12			○	地形図の読み取り、活用 地理情報システム(GIS)の活用例を確認します。
			5 地理情報システムと地図 【地図の可能性は、まだまだ広がる。】					
		定期考査			○	○	○	

	7		<p>6 交通の発達 【地球は、どんどん小さくなっている?】</p> <p>7 拡大する貿易 【国どうしの貿易は、どう変化しているのか?】</p> <p>8 つながる世界, 多極化する世界 【国どうしの結び付きで, 世界はどこに向かう?】</p>	9	<input type="radio"/>			<p>ワークノート (記述の点検)</p> <p>統計資料の活用(発表) ・貿易品目 ・相手国 ・産業構造</p> <p>ワークノート (記述の点検)</p>
2	9	<p>第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解</p>	<p>9 文化の地域性と多様性</p> <p>10 宗教と人々の暮らし</p> <p>11 山地の暮らし 【山に住むには, どんな工夫が必要なのか?】</p>	12	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<p>資料集の活用</p> <p>意見交換・発表 ワークノート (記述の点検)</p>
		定期考査			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	10	<p>2節 生活文化と自然環境① 地形</p>	<p>12 平野の暮らし 【流れる川が, 地形を変えていく。】</p> <p>13 海岸の暮らし 【さまざまな海岸と, そこでの暮らしとは?】</p>	12			<input type="radio"/>	<p>意見交換・発表</p> <p>意見交換・発表</p>
	11	<p>3節 生活文化と自然環境② 気候</p>	<p>14 多様な気候とその分布</p> <p>15 熱帯の人々の暮らし 【強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は?】</p> <p>16 乾燥帯の人々の暮らし 【雨が少ない! どうやって水を得る?】</p> <p>17 温帯の人々の暮らし 【クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。】</p> <p>18 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 【長い冬を過ごすための食料や, 町の工夫とは?】</p>	12	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>地図・資料集の活用</p> <p>ワークノート (記述の点検)</p>
		定期考査			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
12	<p>4節 生活文化と産業</p>	<p>20 食生活と農業の分布 【人の食生活は, 気候だけで決まるのだろうか?】</p> <p>21 工場立地の変化 【工場は, どんな理由でどんな場所に建つのか?】</p> <p>22 商業立地と人々の生活 【売り方も, 買い方も, 社会とともに変化する。】</p>	9	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<p>地図・資料集の活用</p> <p>地図・資料集の活用</p> <p>地図・資料集の活用</p>	

3	1	第2章 さまざまな地球的問題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題	23 地球環境問題(1) 【大気と海に、何が起きているのだろうか。】 24 地球環境問題(2) 【森林減少と砂漠化, その原因を探る。】	9	○	○	○	映像資料・資料集の活用 グループ討議・発表
	2		25 資源・エネルギーの偏在 【誰もが、欲しがらる。だから、取り合いに。】 26 化石燃料から再生可能エネルギーへ 【地球を、「電池切れ」にさせないために。】 27 発展途上国の人口問題 【人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。】 32 先進国の人口問題 【若者が減り、高齢者が増えるとうなる？】	9	○	○	○	グループ討議・意見発表
	3	4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題	32 食料需給をめぐる問題 【増産しても、まだ足りない。なぜだろう。】 33 発展途上国の居住・都市問題 【人は、何を求めて都市に向かうのか。】 35 先進国の居住・都市問題 【なぜ、再開発が必要なのか。】 34 民族問題・難民問題 【くり返す対立で、国を追われる人々がいる。】	3	○	○	○	ワークノート (記述の点検) ワークノート (記述の点検) ワークノート (記述の点検) ワークノート (記述の点検)

計 105 時間 (50 分授業)

3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。</p> <p>地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、多角的に考察したり、国際的・地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。</p>	<p>地理に関わる諸事象に対して、その知識や技能を獲得し、国際的、全地球的な観点から、今日的な課題に対して、自ら思考力や判断力、表現力などを身につけようとする取り組み、姿勢が見られている。</p> <p>多面的な考察から、世界の諸地域の多様な生活文化を理解、尊重しようとしている。</p>
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の分析や ・レポートやワークノート、ノートなどの提出物の内容確認 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の分析 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・提出物などの内容確認 <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・レポートや意見文・感想文などの提出 <p>などから、評価します。</p>

4 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに「ワークノート」の提出があります。
- ・ 各学期の期末考査後、ノートの提出があります。
- ・ 長期の休業中に課題プリントを配布・提出があります。

5 担当者からの一言

地理は各国の地形や気候を知ることができるだけでなく、世界文化や情勢も知ることができる科目です。近年の世界情勢は著しく変化しています。地理の学習を通して、世界の文化や経済、情勢について興味関心を持ち、視野を広げて欲しいです。

世界史 A (必修)	履修学年	3 学年	履修学科	全学科
	単位数	2 単位	履修コース	全コース

1. 科目の概要

学習目標	近現代を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
使用教科書	「高等学校 世界史 A」 第一学習社	補助教材	「世界史 A ノート」 第一学習社

2. 授業計画と学習内容

学期	月	授業計画	学習内容	時間	備考
1 学 期	4	世界史へのいざない	自然環境と歴史	6	植民地支配による民族・国境など現在まで残る問題についても考える。 現代社会と関連づけながら考察する。
	5	地球社会と日本	日本列島の中の世界の歴史 帝国主義の時代 急変する人類社会	3	
	1 学 期 中 間 考 査				
	6		世界戦争と平和	3 8	
	1 学 期 期 末 考 査				
	7		三つの世界と日本の動向	6	
	8		地域社会への歩みと課題		現在に続く課題について考察する。

2 学 期	9		持続可能な社会への展望	8	冷戦終結後、頻発している民族対立や地域紛争について、国際社会はどうかに対応すればよいかを考える。	
	10					
	11	2 学 期 中 間 考 査				ヨーロッパ世界の成立について理解する。
	12	世界の一体化と日本	ユーラシアの諸文明	8		
				8		
		2 学 期 期 末 考 査				
		結びつく世界と近世の日本	6	ヨーロッパとアジアとの関係について理解する。		
3 学 期	1		ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	6	人権の主張や国民国家の形成について理解する。	
	2			6		
		学 年 末 考 査				
	3		アジア諸国の変貌と近代の日本	2	世界市場の形成に伴うアジアの植民地化について学ぶ。	

計 70 時間 (50 分授業)

3. 評価について

評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
	歴史的事象に関心を持ち、進んで学習しようとしている。	グローバルな視点から歴史的事象を捉え、多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	資料を有効に活用するため、必要な情報を取捨選択し、自分なりにまとめている。	近現代史を中心にして、歴史的な問題を考える上での基礎的知識を身につけている。
関連する検定	テスト・平常点（出席状況・態度・提出物）の総合			
担当者からのメッセージ	世界史の学習は、基礎的な知識を身につけながら、様々な角度から世界を観る方法を学びます。将来を見すえて、現在までに生じた世界的な諸問題の成り立ちやしくみを考えていきましょう。			

教科(科目)	公共	単位数	2単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	清水書院「私たちの公共」				
副教材等	清水書院「私たちの公共 ワークノート」				

1 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う。 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

2 学習計画

※知…知識・技術、思…思考・判断・表現、主…主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1	4	第1章 社会で生きるということ	1 私たちと青年期 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化	4	○	○	○	ワークノート (記述の点検)
	5	第2章 みんなが幸せな社会とは?	1 よく生きるとは?世界の思想 2 幸福な社会とは?功利主義 3 幸福な社会とは?正義の原理 4 環境問題と人間の活動 5 地球環境問題	5	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	レポート提出 クラス発表
	6	定期考査 第3章 公共的な空間における基本原理 定期考査 第1章 私たちの生活と法	1 個人の尊重と社会 2 民主主義、立憲主義 3 法はなぜ必要なのか 1 個人と法 2 平等に生きる権利 3 自由に生きる権利 4 人間らしく生きる権利 5 新しい人権	5	○	○	○	ワークノート (記述の点検)
				6	○	○	○	
					○	○	○	
					○	○	○	
7						○ ○		

2	8 9	第2章 私たちの生活と政治	1 日本の統治機構 2 国会のしくみとはたらき 3 内閣のしくみとはたらき 4 行政機関としての国の役割 5 裁判所のしくみとはたらき	6	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○		ワークノート (記述の点検)
		定期考査				○ ○ ○		
	10		6 紛争解決のしくみ 7 地方自治の役割と現状 8 選挙のしくみ 9 政党と政治参加 10 民主政治の原理と世論	6			○ ○ ○ ○	DVDの活用 模擬投票の実施
	11	第2章 平和主義と日本	1 日本の平和主義と憲法 2 日本の外交と平和な社会の構築	4	○ ○	○ ○	○	クラス発表
		定期考査				○ ○ ○		
	12	第4章 私たちの生活と経済	1 私たちの生活と経済活動 2 市場経済のしくみ 3 価格を決める要因	5	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	ワークノート (記述の点検) 職業選択について考 える (レポート提出)
3	1	第4章 私たちの生活と経済	4 企業の経済的役割 5 国民所得と私たちの生活 6 政府の経済的な役割	7			○ ○	職業選択について (レポート提出)
	2 3	第5章 私たちの生活と国際社会	1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 3 平和な国際社会をめざす 4 グローバル化する社会 5 持続可能な国際社会	5	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	ワークノート提出 (記述の点検)

計 105 時間 (50 分授業)

3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	現代社会が抱える様々な諸課題を捉え、考察し、自己で判断・行動出来るようにするための基本的な概念や制度について理解する。また、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代社会の諸課題の解決に向けて深く学び、その選択や判断となる自己の考え方を多面的・多角的に考察する。公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権者としての自覚などを深めている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析や ・レポートやワークノート、ノートなどの提出物の内容確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・提出物などの内容確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・レポートや意見文・感想文などの提出などから、評価します。

4 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに「ワークノート」の提出があります。
- ・ 各学期の期末考査後、ノートの提出があります。
- ・ 長期の休業中に課題プリントを配布・提出があります。

5 担当者からの一言

この「公共」という科目は、現代社会学が直面する諸問題、私たちの課題を多方面にわたって、多角的に考察していきます。一人一人が自分自身の問題として捉えていく姿勢を見つけていただきたいと思います。是非、今起きている世界的な事件や身の回りのニュースに関心を持ってください。